

今後の財政収支の見通し

〔粗い試算〕 23年2月版

平成23年2月
大阪府総務部財政課

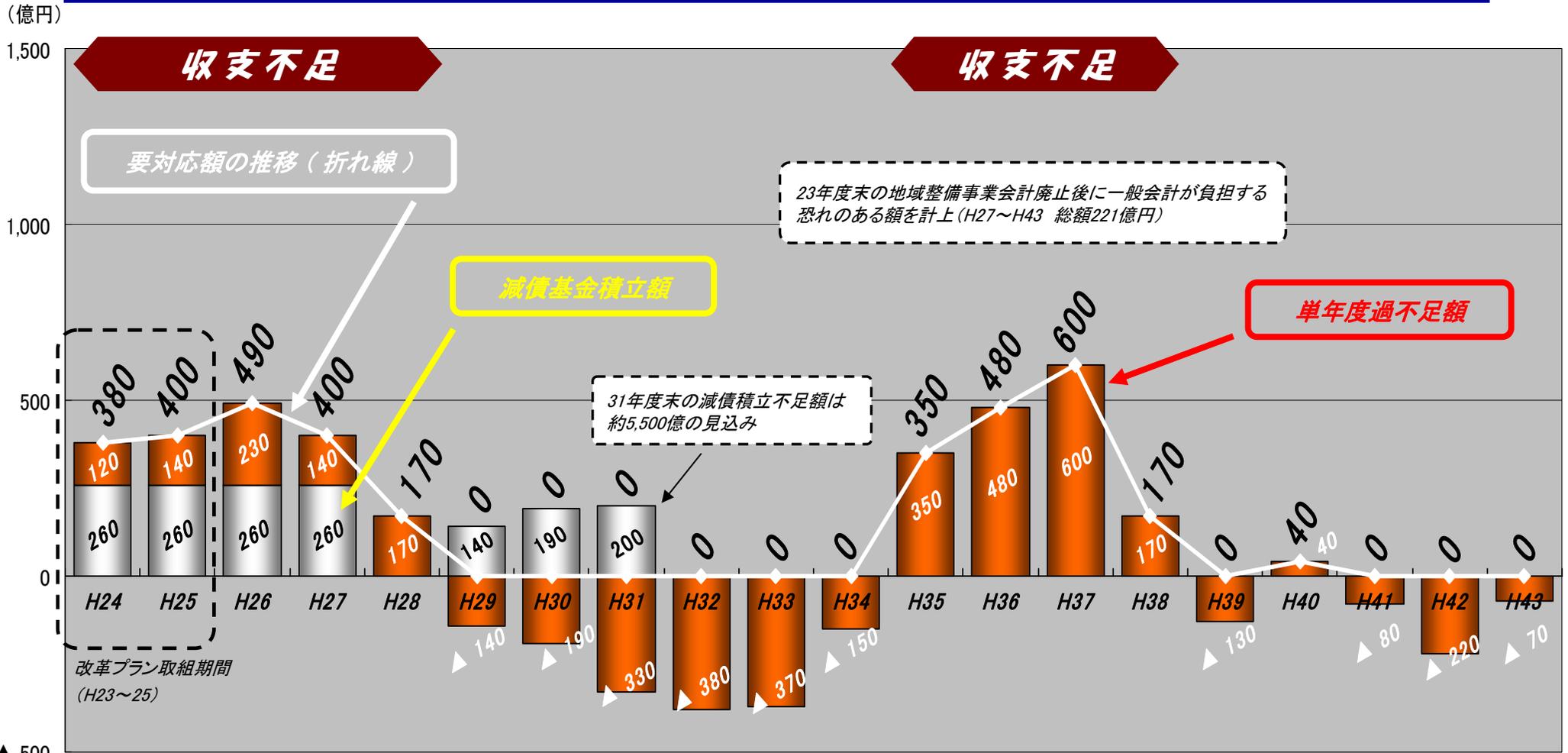
粗い試算の改定について【 23年2月版 】

- 「改革プラン」の実行に加え、部局長マネジメントによる改革を進めつつ、新規拡充施策にも適切に対応した23年度当初予算案を編成。
- この予算案を発射台にして、「改革プラン」に基づくさらなる取り組み等を織り込んだ上で、24年度から43年度までの20年間を対象に、バブル後の景気対策等で大量発行した府債の最終償還の到来を視野に入れて、収支を試算。
- 試算にあたっては、「経済財政の中長期試算」(1/21内閣府)で示された各種数値指標など現時点で見込むことができる条件を前提に推計。なお、この試算は不確定要素を多く含んでおり、相当の幅をもってみる必要。

結果のポイント 【 23年2月版 】

- 長期的には収支不足は改善し黒字転換が見込まれるものの、収入の範囲内で予算を組み、実質公債費比率を早期健全化基準(25%)以上にしないためには、引き続き財政規律を堅持することが必要。
 - 特に、28年度までは、前回試算よりは縮小するものの、各年度170～490億円の要対応額が見込まれる状況。
 - なお、35～38年度に見込まれる収支不足は、バブル後に大量発行した府債の最終償還が到来することによる影響。
- 引き続き、実質公債費比率を早期健全化基準(25%)以上にしない減債基金積立のマネジメントを行うとともに、将来リスクや今後の収支の変動に対応しうるよう財政調整基金の積立を行いつつ、財政運営を適切に進めていく。

財政収支の見通し【23年2月版】



推計には見込んでいないが、今後、財政収支に大きな影響を及ぼす可能性のある「将来リスク」として、まちづくり促進事業会計(390億)、大阪府産業基盤整備協会(140億) などがある。

試算の前提条件【23年2月版】

■推計期間：平成24年度～43年度 ■推計ベース：23年度当初予算案を基本として推計

歳入	府税	「経済財政の中長期試算」(23年1月内閣府)で想定されている慎重シナリオにおける名目経済成長率より														
		府税伸び率	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37以降
		今回試算	+1.0%	+1.3%		+1.5%	+1.3%					+1.8%		+1.7%	±0%	
		(前回試算)	+1.7%	+1.6%					+1.9%		+1.7%	±0%				
		※法人二税の超過課税については継続と仮定した上で試算														
	交付税等	府税と社会保障関係経費の推計を反映														
	一般歳入	税関連歳入については府税の伸びに連動、その他については、24年度以降は原則23年度当初予算と同額														
	特定財源	現行制度をベースに歳出連動														
	その他	財政調整基金の活用については、24年度以降見込まず														
歳出	人件費	改革プランに基づく人件費削減の取組み(23～25年度 毎年270億円)を前提として現時点での定数削減計画を反映 39年度以降は、38年度と同額														
	社会保障関係経費	現制度下における社会保障関係経費を推計 国制度改正による影響が不明な26年度以降は、25年度と同額を見込む														
	公債費	「経済財政の中長期試算」(23年1月内閣府)で想定されている慎重シナリオにおける名目長期金利より														
		10年債金利	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35以降		
		今回試算	1.6%	1.7%	1.9%	2.1%					3.2%		3.7%			
	(前回試算)	1.8%	2.0%		2.2%					3.2%		3.7%				
	※5年債の金利設定については別途算定															
	税関連歳出	府税収入の見込み額から推計														
	その他	原則、23年度当初予算案と同額を見込んでいるが、財政収支への影響が大きいと考えられる事業で、事業計画等を前提に現時点で事業費が見込めるものについては、27年度まで個別に積み上げを行った(28年度以降は、原則として27年度と同額)														

■財政収支の推計（H23年2月試算・概算）

【府税伸び率】 H24：+1.0% H25～26：+1.3% H27：+1.5% H28～32：+1.3% H33～35：+1.8% H36：+1.7% H37以降：±0%
 【金利設定】 H24：1.6% H25：1.7% H26：1.9% H27～31：2.1% H32～34：3.2% H35以降：3.7%

（単位：億円）

区 分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
人件費	8,279	8,501	8,420	8,350	8,490	8,330	8,210	8,050	7,980	7,910	7,830
退職手当	998	1,008	1,010	1,030	990	920	880	790	780	760	720
退職手当以外	7,281	7,493	7,410	7,320	7,500	7,410	7,330	7,260	7,200	7,150	7,110
社会保障関係経費	3,384	3,503	3,520	3,620	3,620	3,620	3,620	3,620	3,620	3,620	3,620
公債費	2,876	2,865	3,190	3,310	3,310	3,410	3,400	3,270	3,110	2,990	2,960
税関連歳出	4,078	4,367	4,250	4,310	4,360	4,430	4,480	4,540	4,600	4,660	4,720
投資的経費	2,005	2,251	2,400	2,190	2,160	2,030	2,030	2,030	2,030	2,030	2,030
公共	1,291	1,498	1,570	1,480	1,440	1,410	1,410	1,410	1,410	1,410	1,410
単独	714	753	830	710	720	620	620	620	620	620	620
一般施策経費	18,415	10,929	10,660	10,460	10,730	10,410	10,430	10,390	10,390	10,370	10,350
歳出合計(A)	39,037	32,416	32,440	32,240	32,670	32,230	32,170	31,900	31,730	31,580	31,510
府税・地方交付金特別譲与税	11,583	11,645	11,770	11,960	12,110	12,280	12,430	12,590	12,740	12,900	13,060
交付税等（臨財債、減収補てん債含む）	6,346	5,920	5,790	5,790	5,790	5,690	5,460	5,280	5,100	4,910	4,720
一般歳入（地方消費税清算金等）	9,049	2,679	2,300	2,320	2,240	2,300	2,320	2,410	2,370	2,400	2,420
特定財源	12,059	12,172	12,460	12,030	12,300	11,820	11,790	11,760	11,710	11,700	11,690
国庫支出金	2,787	2,316	2,330	2,290	2,290	2,240	2,230	2,210	2,200	2,190	2,180
府債（通常債）	828	870	1,230	960	1,250	800	800	800	800	800	800
貸付金償還金等	8,363	8,906	8,900	8,780	8,760	8,780	8,760	8,750	8,710	8,710	8,710
府債（行革推進債等）	81	80	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歳入合計(B)	39,037	32,416	32,320	32,100	32,440	32,090	32,000	32,040	31,920	31,910	31,890
半年度過不足額 (C)=(B)-(A)	0	0	▲ 120	▲ 140	▲ 230	▲ 140	▲ 170	140	190	330	380

実質公債費比率	17.2%	17.8%	18.9%	18.7%	20.1%	22.6%	24.8%	26.4%	25.6%	23.7%	23.7%
実質公債費比率25%を超えないための 対応額（必要積立額）(D)	228	385	260	260	260	260		140	190	200	
■要対応額 (C)への対応+(D)	-	-	380	400	490	400	170	-	-	-	-
上記対応後の実質公債費比率	17.2%	17.8%	18.9%	18.7%	20.0%	22.0%	23.9%	24.9%	24.0%	22.2%	21.8%

■実質公債費比率

財政健全化法に基づく指標で、標準的な財政規模に対する実質的な公債費相当額の占める割合の過去3年度間の平均のこと。この比率が25%以上になると「財政健全化団体」に、35%以上になると「財政再生団体」になる。

■財政収支の推計（H23年2月試算・概算）

【府税伸び率】 H24：+1.0% H25～26：+1.3% H27：+1.5% H28～32：+1.3% H33～35：+1.8% H36：+1.7% H37以降：±0%
 【金利設定】 H24：1.6% H25：1.7% H26：1.9% H27～31：2.1% H32～34：3.2% H35以降：3.7%

（単位：億円）

区 分		平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	平成39年度	平成40年度	平成41年度	平成42年度	平成43年度
歳出	人件費	7,800	7,780	7,710	7,650	7,640	7,580	7,580	7,580	7,580	7,580	7,580
	退職手当	730	730	700	670	660	600	600	600	600	600	600
	退職手当以外	7,070	7,050	7,010	6,980	6,980	6,980	6,980	6,980	6,980	6,980	6,980
	社会保障関係経費	3,620	3,620	3,620	3,620	3,620	3,620	3,620	3,620	3,620	3,620	3,620
	公債費	2,880	3,060	3,560	3,640	3,760	3,380	3,090	3,260	3,140	3,000	3,150
	税関連歳出	4,800	4,890	4,980	5,060	5,060	5,060	5,060	5,060	5,060	5,060	5,060
	投資的経費	2,030	2,030	2,030	2,030	2,030	2,030	2,030	2,030	2,030	2,030	2,030
	公共	1,410	1,410	1,410	1,410	1,410	1,410	1,410	1,410	1,410	1,410	1,410
	単独	620	620	620	620	620	620	620	620	620	620	620
	一般施策経費	10,370	10,360	10,350	10,360	10,360	10,360	10,350	10,350	10,350	10,350	10,350
歳出合計(A)	31,500	31,740	32,250	32,360	32,470	32,030	31,730	31,900	31,780	31,640	31,790	
歳入	府税・地方法人特別譲与税	13,280	13,500	13,740	13,960	13,960	13,960	13,960	13,960	13,960	13,960	13,960
	交付税等（臨財債、減収補てん債含む）	4,470	4,230	3,980	3,710	3,710	3,710	3,710	3,710	3,710	3,710	3,710
	一般歳入（地方消費税清算金等）	2,450	2,500	2,530	2,560	2,590	2,580	2,580	2,580	2,580	2,580	2,580
	特定財源	11,670	11,660	11,650	11,650	11,610	11,610	11,610	11,610	11,610	11,610	11,610
	国庫支出金	2,180	2,170	2,160	2,160	2,150	2,150	2,150	2,150	2,150	2,150	2,150
	府債（通常債）	800	800	800	800	800	800	800	800	800	800	800
	貸付金償還金等	8,690	8,690	8,690	8,690	8,660	8,660	8,660	8,660	8,660	8,660	8,660
	府債（行革推進債等）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歳入合計(B)	31,870	31,890	31,900	31,880	31,870	31,860	31,860	31,860	31,860	31,860	31,860	
半年度過不足額 (C)=(B)-(A)	370	150	▲ 350	▲ 480	▲ 600	▲ 170	130	▲ 40	80	220	70	
実質公債費比率	22.8%	24.7%	22.6%	24.9%	26.3%	28.7%	26.3%	22.8%	20.5%	19.2%	20.4%	
実質公債費比率25%を超えないための 対応額（必要積立額）(D)												
■要対応額 (C)への対応+(D)	-	-	350	480	600	170	-	40	-	-	-	
上記対応後の実質公債費比率	20.5%	21.9%	20.1%	22.1%	23.2%	24.9%	22.6%	19.4%	17.1%	15.9%	16.4%	



【 参 考 資 料 】

- ① 「経済財政の中長期試算」(23年1月内閣府)で想定されている「成長戦略シナリオ」における名目経済成長率及び名目長期金利を参考に試算した場合
- ② 減債基金への積み立てルールに起因する課題について

■財政収支の推計（H23年2月試算・概算）

【府税伸び率】 H24：+1.0% H25：+2.3% H26：+2.6% H27：+3.0% H28～32：+3.2% H33～35：+3.8% H36：+3.7% H37以降：±0%
 【金利設定】 H24：1.8% H25：2.1% H26：2.5% H27～31：2.9% H32～34：4.6% H35以降：5.2%

(単位：億円)

区 分		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
歳出	人件費	8,279	8,501	8,420	8,350	8,490	8,330	8,210	8,050	7,980	7,910	7,830
	退職手当	998	1,008	1,010	1,030	990	920	880	790	780	760	720
	退職手当以外	7,281	7,493	7,410	7,320	7,500	7,410	7,330	7,260	7,200	7,150	7,110
	社会保障関係経費	3,384	3,503	3,520	3,620	3,620	3,620	3,620	3,620	3,620	3,620	3,620
	公債費	2,876	2,865	3,190	3,320	3,340	3,490	3,510	3,410	3,280	3,190	3,190
	税関連歳出	4,078	4,367	4,250	4,350	4,460	4,590	4,740	4,890	5,040	5,200	5,370
	投資的経費	2,005	2,251	2,400	2,190	2,160	2,030	2,030	2,030	2,030	2,030	2,030
	公共	1,291	1,498	1,570	1,480	1,440	1,410	1,410	1,410	1,410	1,410	1,410
	単独	714	753	830	710	720	620	620	620	620	620	620
	一般施策経費	18,415	10,929	10,660	10,460	10,730	10,410	10,430	10,390	10,390	10,370	10,350
歳出合計(A)	39,037	32,416	32,440	32,290	32,800	32,470	32,540	32,390	32,340	32,320	32,390	
歳入	府税・地方人特別譲与税	11,583	11,645	11,770	12,080	12,370	12,720	13,110	13,500	13,910	14,340	14,770
	交付税等（臨財債、減収補てん債含む）	6,346	5,920	5,790	5,720	5,630	5,410	5,040	4,700	4,360	4,000	3,630
	一般歳入（地方消費税清算金等）	9,049	2,679	2,300	2,330	2,280	2,370	2,430	2,560	2,560	2,630	2,700
	特定財源	12,059	12,172	12,460	12,030	12,300	11,820	11,790	11,760	11,710	11,700	11,690
	国庫支出金	2,787	2,316	2,330	2,290	2,290	2,240	2,230	2,210	2,200	2,190	2,180
	府債（通常債）	828	870	1,230	960	1,250	800	800	800	800	800	800
	貸付金償還金等	8,363	8,906	8,900	8,780	8,760	8,780	8,760	8,750	8,710	8,710	8,710
	府債（行革推進債等）	81	80	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歳入合計(B)	39,037	32,416	32,320	32,160	32,580	32,320	32,370	32,520	32,540	32,670	32,790	
単年度過不足額 (C)=(B)-(A)	0	0	▲ 120	▲ 130	▲ 220	▲ 150	▲ 170	130	200	350	400	
実質公債費比率	17.2%	17.8%	18.9%	18.7%	20.1%	22.7%	25.1%	26.8%	26.2%	24.5%	24.7%	
実質公債費比率25%を超えないための 対応額（必要積立額）(D)	228	385	330	330	330	330		130	200	350	400	
■要対応額 (C)への対応+(D)	-	-	450	460	550	480	170	-	-	-	-	
上記対応後の実質公債費比率	17.2%	17.8%	18.9%	18.7%	20.0%	22.0%	23.8%	24.9%	24.2%	22.6%	22.4%	

■財政収支の推計（H23年2月試算・概算）

【府税伸び率】 H24：+1.0% H25：+2.3% H26：+2.6% H27：+3.0% H28～32：+3.2% H33～35：+3.8% H36：+3.7% H37以降：±0%
 【金利設定】 H24：1.8% H25：2.1% H26：2.5% H27～31：2.9% H32～34：4.6% H35以降：5.2%

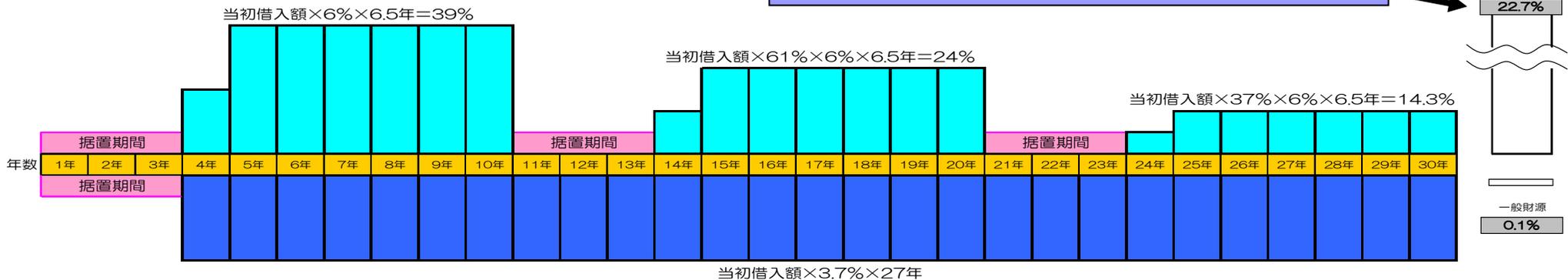
（単位：億円）

区 分		平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	平成39年度	平成40年度	平成41年度	平成42年度	平成43年度
歳 出	人件費	7,800	7,780	7,710	7,650	7,640	7,580	7,580	7,580	7,580	7,580	7,580
	退職手当	730	730	700	670	660	600	600	600	600	600	600
	退職手当以外	7,070	7,050	7,010	6,980	6,980	6,980	6,980	6,980	6,980	6,980	6,980
	社会保障関係経費	3,620	3,620	3,620	3,620	3,620	3,620	3,620	3,620	3,620	3,620	3,620
	公債費	3,160	3,380	3,900	3,990	4,110	3,730	3,430	3,600	3,480	3,330	3,460
	税関連歳出	5,570	5,780	6,000	6,220	6,220	6,220	6,220	6,220	6,220	6,220	6,220
	投資的経費	2,030	2,030	2,030	2,030	2,030	2,030	2,030	2,030	2,030	2,030	2,030
	公共	1,410	1,410	1,410	1,410	1,410	1,410	1,410	1,410	1,410	1,410	1,410
	単独	620	620	620	620	620	620	620	620	620	620	620
	一般施策経費	10,370	10,360	10,350	10,360	10,360	10,360	10,350	10,350	10,350	10,350	10,350
歳出合計(A)	32,550	32,950	33,610	33,870	33,980	33,540	33,230	33,400	33,280	33,130	33,260	
歳 入	府税・地方法人特別譲与税	15,310	15,870	16,440	17,030	17,030	17,030	17,030	17,030	17,030	17,030	17,030
	交付税等（臨財債、減収補てん債含む）	3,180	2,730	2,260	1,760	1,760	1,760	1,760	1,760	1,760	1,760	1,760
	一般歳入（地方消費税清算金等）	2,780	2,870	2,980	3,060	3,060	3,060	3,060	3,060	3,060	3,060	3,060
	特定財源	11,670	11,660	11,650	11,650	11,610	11,610	11,610	11,610	11,610	11,610	11,610
	国庫支出金	2,180	2,170	2,160	2,160	2,150	2,150	2,150	2,150	2,150	2,150	2,150
	府債（通常債）	800	800	800	800	800	800	800	800	800	800	800
	貸付金償還金等	8,690	8,690	8,690	8,690	8,660	8,660	8,660	8,660	8,660	8,660	8,660
	府債（行革推進債等）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歳入合計(B)	32,940	33,130	33,330	33,500	33,460	33,460	33,460	33,460	33,460	33,460	33,460	
単年度過不足額 (C)=(B)-(A)	390	180	▲ 280	▲ 370	▲ 520	▲ 80	230	60	180	330	200	
実質公債費比率	23.9%	25.9%	24.1%	26.5%	27.9%	30.2%	28.0%	24.6%	22.3%	21.1%	22.2%	
実質公債費比率25%を超えないための 対応額（必要積立額）(D)	30											
■要対応額 (C)への対応+(D)	-	-	280	370	520	80	-	-	-	-	-	
上記対応後の実質公債費比率	21.2%	22.4%	20.8%	22.5%	23.5%	24.9%	22.7%	19.8%	17.6%	16.4%	16.6%	

減債基金への積立ルールに起因する課題について

- 平成16年度までに積立てを開始した地方債については、現行と違い、下図の上段に示すようなルールで積立てていた。バブル後の景気対策等で大量発行した地方債の最終償還が、平成34～44年度にかけて到来するが、この間に合計で約6,800億円の一般財源が必要となる見込み。
- このルールでは、最終償還時に多額の一般財源が必要。平成17年度より新たに積立をはじめめるものは、下図の下段に示すように3.7%で積み立てを行っており、最終償還時に多額の一般財源が必要となることはない。

平成16年度までに積立が開始されているもの



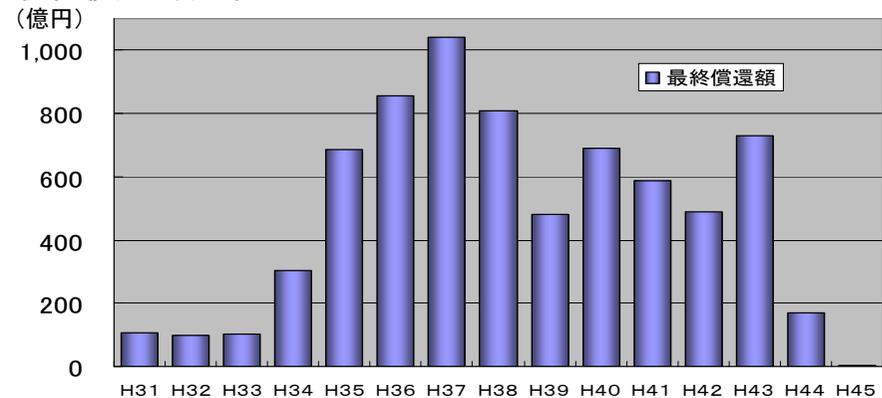
平成17年度より新たに積立をはじめめるもの

◆ 発行額等の推移(普通会計)

発行年度	発行額	うち民間資金(A)	最終償還年度	最終償還額
				(A)×22.7%
H1	859	475	H31	108
H2	1,007	429	H32	97
H3	1,046	444	H33	101
H4	2,829	1,333	H34	303
H5	4,743	3,026	H35	687
H6	4,299	3,772	H36	856
H7	5,634	4,585	H37	1,041
H8	3,975	3,570	H38	810
H9	3,899	2,114	H39	480
H10	3,708	3,032	H40	688
H11	3,392	2,592	H41	588
H12	3,289	2,153	H42	489
H13	3,356	3,206	H43	728
H14	3,168	731	H44	166
		2,002	H44	2
H15	3,361	2,981	H45	3

※最終償還額は理論値(当初発行額×22.7%)
 ※1は6%積立ルールのため最終償還22.7%(13年度出納整理期間発行)
 ※2は3.7%積立ルールの最終償還0.1%(14年度発行)

◆ 最終償還額の見込み



⇒ 平成34年度以降、民間資金の最終償還に必要な一般財源の額が大幅に増加する見込みです。